

写真部

「いばらき総文祭へ
写真部の作品2点が出展」

今年度のいばらき総文祭に参加することができ、大変嬉しく思っています。まさか私が出展できると思っていなかったのが、本当に嬉しいです。

出展する写真のタイトルは「陽炎（かげろう）」です。この写真は、昨年の夏に、花山少年自然の家で行われた写真部の夏季合宿で撮りました。光と影の感じがきれいだと思ったので、ホワイトバランスの電球モードで全体的に青くし、静けさを表現しました。また、ゆらゆらと揺れ、今にも消えそうな光に儂さを感じたので、「儂い」という意味がある、「陽炎」というタイトルを付けました。

総文祭では、他県の代表との交流会、撮影会、講評会があるので、自分の写真と技術を高めたいです。また、色々な方々の支えがあってこそ参加できる総文祭なので、支えてくれる家族、先生方、先輩方、友人



「陽炎」
三年 阿部 恵美里

だきます。まず、今回私が出展することになった作品のタイトルですが「サンセットエアポート」としました。当時は割と猶予が無かったためにこのようなタイトルにしてしまいました。それはさておき、この写真の見所ですが、やはり何と言ってもジェット機のシルエットと太陽が中央で丁度良く重なり、美しさを演出していることでしよう。自分でも良く撮れたのではないかと思います。総文祭では、撮影会もあります。そこで更なる技術の向上を目指します。

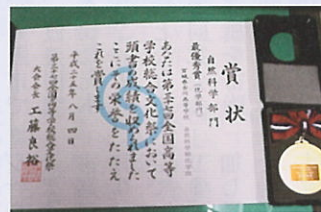


「サンセットエアポート」
二年 千葉翔也
こんにちは。おかげさまで、この度第38回全国高等学校文化祭茨城大会への作品の出展が決定しました。千葉翔也です。

では早速、本題の写真の解説及び総文祭への意気込みを綴らせていただきます。写真の解説及び総文祭への意気込みを綴らせていただきます。

自然科学部

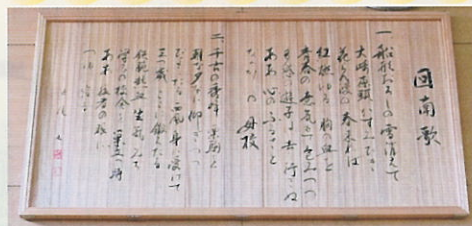
古高の名、
全国に轟く！



昨年の八月二日、四日に長崎県島原市で行われた第37回全国高等学校総合文化祭（長崎）おかげ総文祭、自然科学部門に、県代表として本校の総合科学部化学班が初めて出場しました。研究内容は「ルミノール発光・発光強度と発光時間が最大になる反応条件を探る」というもので、高校の授業では扱わない発光という分野に

あえて挑戦し、二年半に渡って研究を続けた成果を発表しました。大会に出場した他の学校の研究は非常に高度なものが多く、レベルの高さに圧倒されたそうです。初めての全国大会という大舞台というプレッシャー、しかも大会当日に発表形式が突然変更になるハプニングにも負けず、みごと「最優秀賞」に輝きました。審査委員からは「プレゼンテーションが分かりやすかった」「高校生らしい工夫があった」「発表態度が素晴らしいかった」という点を高く評価されたそうです。丁寧で地道な努力の積み重ねが栄冠を勝ち取った瞬間でした。

図南歌額寄贈される



2月14日、体育館ステージの左側に本校11回生の皆様より寄贈された図南歌の額が飾られました。図南歌は皆様ご存じの通り、卒業式において卒業生を送り出す際に万感の思いを込めて歌う歌です。校歌とともに私たち古高生にとってはとても大切な歌となっており、私たちが古高生として、体育館のステージ右側には校歌、そして新たに左側には図南歌が掲げられ、ギャラリーには「我に龍虎の知勇あり」の横断幕が貼られています。殺風景になりがちな体育館の壁が、すばらしい額によって飾られ、またそこに記された言葉一つ一つに励まされる思いがします。普段歌っているその歌詞の言葉を改めてしっかりと確かめ、気持ち新たに励んでいきたいと思えます。

古高育英会より
文武両面での支援



新校舎とともに文武両面において環境を整えました。その環境を最大限に生かして、成果へつなげて欲しいと思えます。

また5月には線路脇に運動部待望のトレーニングルームが完成しました。これもまた古高育英会の寄贈によるものです。今までは部室の一角や、昇降口などに置かれていたトレーニングマシンが、整然と並べられています。



古川高校育英会より、蛍雪会館2階に学習机と椅子の寄贈があり、昨年11月より活用させていただいています。木製の机とカラフルな椅子は、外観の少し古くなった蛍雪会館を明るい雰囲気にくれました。衝立と個別の照明も付けられており、以前より学習に集中できるようになったと生徒の評判も上々です。壁には古高育英会のもととなった亀谷基金についての説明が貼られており、古高の先輩の力によって整備されたものであることが生徒にもはつきりと知られています。

支部だより

関西宝雪会

事務局 高橋達也
(昭和47年卒・高24回)

関西宝雪会は現在、兵庫県・大阪府・奈良県・京都府と近畿一円に会員が在住しています。役員は昨年同様松谷会長、松浦副会長、事務局高橋の3名です。それぞれ離れているためすぐに集合して話し合うという環境ではないため、通常はメール等で情報のやり取りをしています。

関西宝雪会の総会は例年12月の第一土曜日に開催しています。今年度も同様に12月6日(土)の予定です。この時期は他の行事等が重なり出席できない会員も多く、開催時期を変更してはという意見も聞かれますが現在検討中です。

昨年12月7日、大阪市で同窓会を開催し、渡邊同窓会会長はじめ鈴木校長先生、事務局工藤先生のご主席を賜り盛況な同窓会となりました。また、渡邊同窓会会長より立派な支部旗を寄贈していただき出席者一同身が引き締まる思いでした。関西宝雪会の活動として

宝塚歌劇団月組に所属しています(蓮つかさ)さんの応援を遊佐委員長を中心に盛り上げています。本拠地の宝塚劇場でご観劇ください。

最後になります。近畿地区にはたくさんのお光臨名所があります。古い町並みに新しい建物や文化がバランスよく融合し活気が満ちている今日です。是非、足をこんでいただきご堪能ください。

在京同窓会

事務局長 佐々木恭次
(昭和38年卒・高15回)

今年春先に古高南新校舎が完成し、おめでとうございます。古高も次のステップに飛躍する年ではないかと思っております。在京古高同窓会も今年役員改選期で本誌が発行されるころには、新体制が発足しております。先ず懸案であった「在京古高同窓会ホームページ」を開設しました(<http://fukuko-doso.com/tokyo>)。

古高同窓会として作成しており、当面本部と在京同窓会でスタートしますが、ツリー式に各地区同窓会が参加し易くする為ドメイン名を約20まで増やせるようにしております。各地区の同窓会も是非作成して交流の

場に使って貰えるように、この場でお願いたします(詳細は宝雪53号記載)。

この1年間を振り返って、昨年7月6日定期総会時に在學生10名の参加者に加え、加藤勝信 内閣官房副長官(兼内閣人事局長)を招き、アベノミクスを含む時局講演に耳を傾けました。選挙区は岡山(5区)ながら、育ちは東京練馬で気さくな方で懇親会では身近に接する良い機会でした。9月21日に宝ジェンスの「蓮つかさ」観劇会(東京宝塚劇場)と囲む会(学士会館)を催し、初めての観劇ながらその雰囲気圧倒されました。囲む会は山本照夫元校長夫妻、大山義男夫妻に



同期生の里織さんの中島源陽様一家を含む同期生らに、黎明高(萩原、千坂様)からや在仙同窓生らが総勢30名余の参加を貰い、素顔の「蓮つかさ」と共に語りながら今後の活躍のメールを送りました。今年も12月に開催予定しております。

秋真つ盛りの10月17・18日(泊2日)に本部・在仙・在京同窓会共同企画「ふるさと探訪ツアー2013」を開催し、吉岡のトヨタ新鋭工場見学に宮城の国宝を全て探訪し、支倉常長 慶長遣欧使節渡航400年に纏わるユネスコ「世界記憶遺産」登録の国宝も見られる機会を得ました。夜の懇親会(滝の原温泉・ちどり荘)は在仙同窓生が

多数参加頂き、一献酌み交わしながら交流を深められました。今年1月25日に旧古川市内四校関東同窓会(上野精養軒)を開催し、総勢220名中古高同窓生らが70名出席(来賓者含む)し、黎明高有志による「みやぎの民話」朗読会を催しました。来年(1月24日)古高担当で6年振りに、一線で活躍している古高出身の音楽家の皆さんを招いて「新春コンサート」を開催予定です。是非ご出席ください。

県庁同窓会

幹事長 佐々木伸也
(昭和58年卒・高35回)

今年も、会の財政基盤を改善しながら若い同窓生が参加し易くなるような、親しみやすい活動に務めてまいります。

平成25年度の総会は、11月22日に仙台南市内のホテルで開催されました。渡邊義之本部同窓会長、鈴木悟校長や県議会議員をはじめとする多くの来賓及び先輩方のご臨席を賜り、前年度から微増の総勢80名の参加で盛大に開催されました。恒例の校歌斉唱ではじまり、畑正芳会長のあいさつの後、渡邊会長から激励のご祝辞を賜り、鈴木校長からは、

完成間近のピンク色?の新校舎の話題や現役生の部活動や各種活動等での活躍ぶりを紹介いただきました。また、渡邊会長からは県庁同窓会の絆をより一層強固なものにするためにと支部旗の寄贈がありました。ありがとうございました。

25年度は、若い職員(会員)の参加が目立った年でした。県庁古高同窓会も近年は「少子高齢化」の波が押し寄せていたところでしたが、新卒者をはじめとする平成生まれの会員が多く参加し、世代を越えた交流が図られました。また、本会はじまって以来の見慣れぬ光景にドギマギした諸先輩方も多かったと思います。初の女性会員1名の参加もあり、本人には快く?壇上に上がっていただきスピーチしてくれるなど大いに盛り上がりました。

最後は、囀南歌、凱歌、各応援歌を合唱し、エールを交換して総会を締めくくることができました。

今年も多くの若手会員の参加を促し、活発な総会となることを目指しております。



在仙同窓会

事務局 菅原 四郎
(昭和38年卒・高15回)

在仙同窓会は、昨年2月に臨時総会を開催し、会長を6回から25回、副会長を15回から25回卒と若返りを図り、再スタートしました。同窓会としての人脈不足と現業が多忙な事もあり、ゴルフ、囲碁等の愛好会は数多く実施していますが同窓会全体としての新年会等は、実施を見合わせ、まず、同窓生の親交、絆を深めべく卒業式、在京同窓会、本部同窓会、在京のふるさと探訪、県庁同窓会に参加し、親交を深めました。



今回の総会では、昨年の出欠の返答コメントや在仙同窓生の現状を考え、今迄の同窓会の中心的な存在であった旧古中、1〜10回生、十数名の物故者を考慮、又、昨年のふるさと探訪が黒川郡―東日本トヨタ自動車の工場見学であったので大衡村、大和町の一部、富谷町、名取市、多賀城市、利府町等の同窓生にも案内を出しました。数名の方に参加していただきました。更に会長等の若がりやで20〜37回生の若い方々も出席するようになりましたので、今後は愛好会等を増会、増員を図り、同窓生同志の親睦、絆を深め、同窓会の若手出席数を増員、総会での新たな人脈等を深め、各自の趣味や仕事に活用して貰いたいと思っています。在仙同窓会自体としても、同窓生の出席の呼びかけや納涼会や新年会及び在仙賞雪賞の復活に最善を尽くしていく方針です。

三本木支部

会計 伊東 仁
(昭和48年卒・高25回)

一昨年6月23日に久しぶりに総会を開催できた古川高校同窓会三本木支部(ホーム会)。昨年は復活第二回として6月22日に総



会を開催いたしました。参加者は28名と多くはありませんでしたが、最年少の参加者が平成7年卒高47回、最年長は昭和24年高1回と幅広い世代の会となりました。今後も鈴木寿郎会長のもと、若い世代の参加を募って行きたいと思えます。今年の総会は6月7日に開催の予定です。多くの参加者を期待しています。ホーム会では、三本木の桜の名勝、館山公園を復活させる会の活動にも参加しております。この復活させる会も前会長の伊東市男先輩が熱く望んだのがきっかけで活動が始まりました。昨年11月にはJR東日本の協力をいただき、館山公園に60本の桜の苗木を植樹しました。その伊東市男前会長は4月1日に急逝されました。伊東市男先生が望まれたホーム

ム会の復活。館山公園の復活も今後の展開が期待できる姿を見ていただけたことを嬉しく思います。伊東市男前会長のご冥福を祈りたいと思います。

加美支部

事務局長 諸岡 敏博
(昭和46年卒・高23回)

25年から支部総会を10月から8月下旬に変更しましたが44名の同窓生が参加し盛大に開催できました。ご出席頂きましたご来賓の皆様には感謝します。26年の支部総会は8月26日開催、会場も会場も変わらない予定です。どうぞ支部会員資格がある在住者・町内勤務者たまたまその頃帰郷している同窓はスケジュールの調整をお願いします。

4月今年も家の前のバス停に新入生が立っています。制服の多い中に3、4人の私服の古高生がいます。先日接骨院にジャージ姿の後輩がいました。なんか見た事ある子だなと考えていたら昨年接骨院系列のデイサ

美里支部

事務局 末 永裕悦
(昭和52年卒・高29回)

1ピス夏祭りで股旅舞踊と唄を披露した女の子でした。全国大会で上位の成績を収めてもいます。タカラジェンヌ蓮つかさ嬢に追いつけ(？)と激励したい新入生です。ご本人の承諾を得ていませんので名は伏しておきますがユーチューブで「アミーゴ夏祭り②」で検索すると彼女の舞踊をちょっとだけ見ることが出来ます。

今年度、美里支部は小牛田支部時代から数えて設立50周年を迎え、5月31日、町内のJAみどりの会館で総会と記念講演会を開催しました。講演会は「守れ、山の神」と歌にもあることから、「山の神こそ、われらの守り神」と題し、美里町小牛

田のシンボル「山神社」について、美里町在住で同窓生、教職員として古高にも奉職し、現在は東北福祉大学で教鞭をとられ、山の神についての著書もある後藤一蔵氏を講師にお招きして行われました。支部の地域貢献事業として位置づけ、同窓生のみならず、一般の皆さんにも開放され、約100名の皆さんが熱心に聴講しました。



総会後には盛大な懇親会も開催され、世代を越えた楽しいひと時を過ごし、初めての参加となった平成の卒業生、高46回の新沼宗君の堂々たる万歳三唱でお開きとなりました。

今回の50周年を機に、より一層活発な支部活動を展開し、母校発展の一助となるよう新たな一歩を踏み出したいと考えています。

入試合格状況

卒業生の進路状況

	国立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	中学校	専各	就職	受験準備	その他
合格者	84	283	0	6	0	高看 5	公務員 3	30	3
進学者	79	107	0	2	0	一般 7	民間 0		

3、私立大学合格者数

大学	入試年度		26年度	
	現役	過卒	14	現役 過卒
東北学院大	80			5
東北工大	15			
東北福祉大	36			1
東北薬大	2			
宮城学院女子大	10			
仙台白百合女大	6			
東北文化学園大	7			
尚綱学院大	7			
文教大	4			
青山学院大	1	1		
国際基督教大	1			
成蹊大	2			
専修大	1			
中央大	9	1		
東京理大	1			
東洋大	7	1		
日本大	4	2		
法政大	4	5		
明治大	3	1		
明治学院大	3			
立教大	2			
早稲田大	1			
神奈川大	9	1		
関西大		1		
その他の私大	68	9		
私立大合計	283	28		

1、国立大学合格者数

大学	入試年度		26年度		現役	
	現役	過卒	14	現役 過卒	男	女
室蘭工大		1				
岩手大	9	1	6	3		
東北大	4	1	3	1		
宮城教育大	12		8	4		
秋田大	3		3			
山形大	14		11	3		
福島大	2		2			
茨城大	6	1	4	2		
筑波大	3		3			
宇都宮大	2		2			
埼玉大	1		1			
千葉大	3	1	1	2		
横浜国立大	1		1			
新潟大	3		3			
金沢大	1		1			
琉球大		2				
国立大合計	64	7	49	15		

2、公立大学合格者数

大学	入試年度		26年度		現役	
	現役	過卒	14	現役 過卒	男	女
宮城大	6		3	3		
県立米沢栄養大	1			1		
高崎経大	7	1	6	1		
首都大東京	2		2			
神奈川保福大	1			1		
横浜市立大	1		1			
新潟県立大	1			1		
静岡県立大	1			1		
公立大合計	20	1	12	8		

国公立大合計	26年度		現役	
	現役	過卒	男	女
	84	8	61	23

平成26年度 古川高等学校同窓会総会のご案内

- 日時 平成26年8月9日(土)
- 場所 芙蓉閣
大崎市古川駅前大通6-2-8 TEL 0229-23-0550
- 日程
 - 13:00～ 総会
当番幹事 高20・高25・高30・高35・高40・高45回生
 - 14:40～ 講演会
「震災と日本の未来 ― 心魂と科学技術の再低位 ―」
講師 千葉 恵氏 (昭48卒・高25回)
北海道大学大学院教授
 - 16:20～ 記念撮影
 - 16:30～ 懇親会
- 会費 4,000円 (懇親会代含む)

今年の卒業生は男女共学の第7期生にあたります。ここ数年、本校では推薦・AO希望者は減少し、多くの生徒が一般試験で受験します。約9割にあたる207名がセンター試験を受験しました。今年のセンター試験では、国語・生物が難化したこともあり、特に文系の中間層を中心に二次試験で厳しい戦いを強いられました。それでも、後期試験や別日程まで粘り強く頑張り、卒業生の約36%にあたる84名が国公立大合格を果たしました。現役生は東北大・山形大学

医学科などの難関大に5名、筑波・千葉大等のブロック大に11名合格と健闘しました。私立大学では、早稲田、国際基督教大、明治中央など難関大に22名合格しました。ここ数年コンスタントに約3分の1以上の生徒が国立大学合格を実現しており、進学面では着実に力をつけてきています。卒業生には古高での3年間で培った高い志を実現すべくより一層の精進をお願いいたします。そして、同窓生として、新天地において大活躍することを期待いたします。